2023年度

指導方針等の説明配布資料

2023-3-18
開智校庭
（雨天時：城北公民館）

はじめに

日頃は開智ｻｯｶｰｽﾎﾟｰﾂ少年団の活動にご参加･ご支援いただきありがとうございます。

開智サッカーとしての指導方針・指導の一貫性・体制の充実・保護者の皆さんとのコミニケーｼｮﾝ・運営組織の見直し等について整理すべく　本資料をまとめました。
ここ数年配布してきているものと大きな変更はありませんが、改めてご一読宜しくお願いいたします。

一度には全てのことはできませんが　ご理解を得ながら保護者の皆さんと力を合わせ子供達の為に頑張りたいと考えます。ご協力宜しくお願い致します。

＜目次＞

１．開智ｻｯｶｰｽﾎﾟｰﾂ少年団の基本理念
２．開智ｻｯｶｰｽﾎﾟｰﾂ少年団の育成・指導方針
３．2023年度指導者の体制
４．学年・開智指導カテゴリー・参加リーグ戦の関係
５．保護者の皆さんへのお願い
６．団運営にあたっての変更点
７．アンケートに対する指導者としての考え　＋　指導者自己ﾁｪｯｸ１１項目他
８．2017年3月～開智ｻｯｶｰｽﾎﾟｰﾂ少年団運営組織の見直し

＜参考資料＞
・ﾊﾝﾄﾞﾌﾞｯｸ「めざせﾍﾞｽﾄｻﾎﾟｰﾀｰ」

1. 開智ｻｯｶｰｽﾎﾟｰﾂ少年団の基本理念

「スポーツによる青少年の健全育成と生涯スポーツの芽を育てる」というスポーツ少年団の精神に沿って、サッカーを通じて心身の健全な育成・発達を促すとともに、自己責任やフェアープレイの精神・仲間との交流を通じたコミニケーション能力や豊かな心と他人を思いやる心等を育成してゆく。

① 健康な身体をつくり、スポーツ文化を理解する心を養いスポーツマン精神を習得する。
② 競技規則、ﾌｪｱｰﾌﾟﾚｲに代表されるマナー･エチケット等のスポーツ規範に基づき、主体的・継続的にｻｯｶｰの楽しさや歓びを味わう。
③ 限りなく伸びる「自分の未来」や「力」を作り出す努力をする。
④ 進んで奉仕する心を養う。

※指導者にも個性があり経験も様々です。当然指導方法や考え方にも違いが出てきます。
　それを前提に、 基本となる部分の「育成・指導方針」をコーチ間で再認識し合い、その上に立ったものなら個性ある育成指導方法として認めあい尊重しながら、育成力向上のための相互啓発・一層の勉強をしていきたいと考えます。

2. 育成･指導方針

-1）サッカーやスポーツの楽しさを教えよう

-2）長期的な視野にたった選手の育成

-3）サッカーを通じた人間形成

育成･指導方針

-1）サッカーやスポーツの楽しさを教えよう（＝原点）

・ボールゲームがもつ本来の楽しさを味わう＝遊びの場つくり

明るく自由でのびのびした雰囲気つくり（練習もゲーム性を持たせたり…）
どの子にも楽しくプレーさせるように。

・全員がたくさんボールに触れる環境を設定

ﾐﾆｹﾞｰﾑを主体、試合は全員出場をめざす（但し全国大会等は難しい場合も・・）

・ほめ、失敗を恐れず積極的なチャレンジをはげます

失敗はヘッチャラ（萎縮させない）、チャレンジ・チャレンジ！！
良いときは徹底的にほめる。そして自信をもたせる（怒らない指導⇒前向き声掛け）

・年令･個性に応じた声かけ･対応

内気な子・自信のない子・元気な子…人と比べず個々の成長を見守り励ます

・コーチ自身も保護者の皆さんも一緒になって楽しむ･学ぶ＝成長

-2）長期的な視野にたった選手の育成

・ゴールデンエイジに必要なボール技術習得優先の指導

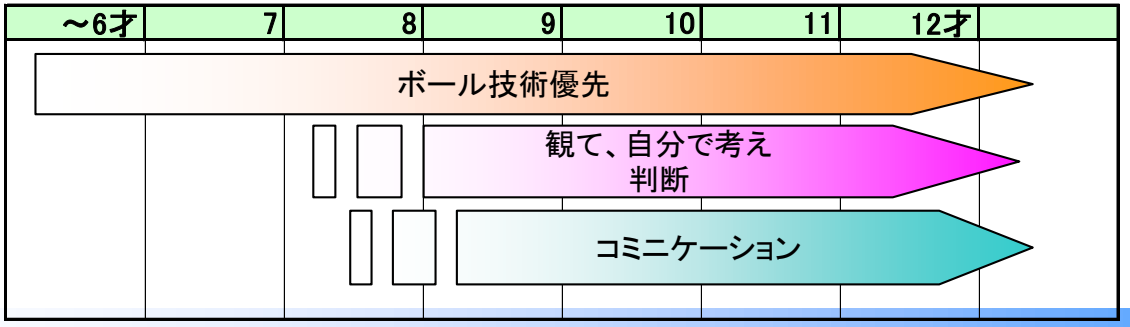
（目標：いかに完成期に大きく成長するか、生涯ｽﾎﾟｰﾂとして楽しんでもらえるか）
ﾊﾟﾜｰﾌﾟﾚｰやﾁｰﾑ戦術は今でなく中学･高校で効果的に指導できます
特に今はスモールエリアでの自信を持ったﾎﾞｰﾙさばきがきちんとできる様に！

・自分で「考え」「気づき」「判断できる」力を育てる

指導者の役割は、選手が自分で判断し切り開く能力を身に付けさせること
（＝クリエイティブな選手の育成）
つい目先の成績を求めすぎ　答えを教えすぎてしまいやすいですが
→忍耐を持って　自分で観る・考える・判断する・挑戦してみる様な動機付け
練習･試合においては子供たちの自由な発想･プレーを最大限尊重する

・チームメイト等との積極的なコミニケーション能力の育成

自分がどうしたいのか、皆にどうして欲しいのか　勇気を持って心の壁を乗越え



-3）サッカーを通じた子供達の人間形成

- **仲間を助け合う・仲間を大切にする気持ち、思いやりの心**

  単にｻｯｶｰだけ上手になるのではなく、団体生活の難しさや楽しさを経験しながら、
  あいさつ・助け合い・心配りetcを育成する場を目指す
  （いじめや仲間を見下す態度はきちんとやめさせる）

- **フェアープレーを尊重できる選手へ**

- **自分達でできることは自分達でする動機付け（自立を支える）**

  準備片付け・個人練習・試合前後のﾐｰﾃｨﾝｸﾞ・家庭でのお手伝い･片付けetc
  子供なりに、自分で必要だと思う事を、自分で考えさせ　やることが大切

- **一人一人の個性（サッカー以外の能力も）尊重し育成**

- **サッカー以外のスポーツも取り入れ楽しむ**

3．2023年度指導者の体制　2023－4月～

代表　：長岡
事務局長　：大島　事務局：大島、青木　顧問：加藤
（代表をサポート頂ける ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ精神に富んだｵｰﾌﾟﾝﾏｲﾝﾄﾞな方を募集しています）

指導体制

カテゴリー	統括	担当指導者	サポート	横断支援	審判支援	備考
U-12	◎和田	和田、水越、安喰		水野、盛村、関、村瀬、中条、石川、つぐみ、	特別イベントなどで要請時　ご支援いただく	ＧＫコーチ募集中
U-11	◎丸山	丸山、柳沢				
U-10 U-9	◎中島	中嶋、藤森、長岡				
U-8、7	◎大島	大島、青木、加藤				
ありんこ	◎加藤	加藤				
夜間練習	◎竹内	竹内・藤森・豊川、 （和田）（水越）（長岡）				

複数指導者で見る狙い：違った見方で指導、レベル差のある子供達のサポート、若手指導者の育成
◎は各カテゴリーの総括指導者　○は試合等学年で別れる時のとりまとめ指導者
◎○総括責任者は　以下の内容を取りまとめる
①月次計画、毎週の日程連絡を　事務局・学年代表・指導者等と連携し取り纏め
関係者と情報共有を密に行う事
②指導者は　練習の15分前に集合し　当日のメニュ・指導ポイント・役割分担等を共有・確認する
複数学年の合同練習を頻繁に開催：上下学年他との合同練習を毎月担当コーチ間で計画
同一カテゴリー練習時間内でも、レベル別Gr練習を多く盛り込み、各層のレベルアップを図る
指導者・保護者の合意上で　飛び級練習・リーグ戦等試合参加を実施

補足： 学年・開智指導カテゴリー・参加リーグ戦の関係

学年	開智 指導カテゴリー区分	サッカーリーグin松本・塩尻			連合会 Dリーグ U-9	アイビー リーグ U-8,9
		U-12	U-11	U-10		
6年生	U-12	②				
5年生	U-11		①			
4年生	U-10			○		
3年生	U-9				○	○
2年生	U-8				○	○
1年生						○

個の成長を考え　学年を超えて上のカテゴリーの練習に参加させる場合がある
開智としては　U-11・U-12　リーグに計３チーム登録する。（チーム間でメンバー入れ替え可能）
※１　U-12.11リーグ間では　メンバー登録の重複も加味する
　　但し　出場負荷バランスを配慮する。
　　上位カテゴリーに参加するメンバーは固定せず　交代も配慮する
※2　新1年生の入団状況で　今後の進め方を考える
※3　複数学年の合同練習を頻繁に開催：上下学年他との合同練習を毎月担当コーチ間で計画

4. 保護者の皆さんへのお願い

1）JFAﾊﾝﾄﾞﾌﾞｯｸ「めざせﾍﾞｽﾄ ｻﾎﾟｰﾀｰ」を指導者・保護者共通の参考書とし、悩んだ時・迷った時に立ち返って読み返しませんか！

ＪＦＡが少年サッカーを持つ保護者向けに作成したパンフレットです。
どこのﾁｰﾑや子供達の成長を願う指導者･保護者も似たような悩みを持っていると思います。悩んだ時　又は　指導者と保護者の連携強化のためにもご一読下さい。
本ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄを我団の基本スタンスとして共有していただけたらと考えます。
（JFAのHPでﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ下さい www.jfa.or.jp/shop/products/best supporter.pdf）

2）是非暖かく、応援してください。 但し過度のﾌﾟﾚｯｼｬｰは楽しさや成長（積極性や創造性等）を奪いかねません！

以下「めざせ、ﾍﾞｽﾄｻﾎﾟｰﾀｰ！」より抜粋
「サッカーでの主役は子供です。子供自身が考え、感じ、判断しプレーした事を認めてあげてください。それがうまく行かなくても決して責めないで下さい。失敗したこと充分にわかっています。うまくできたことはしっかりとほめてください。
勝っても負けても大きな拍手。良いﾌﾟﾚｰには味方・相手関係なく拍手。
そんな素敵な応援が子供のサッカーを盛り上げます」

うちの子はどうも・・・〇〇君は・・他の子供達と比較でなく　その子の成長を見守って下さい、急に伸びる・化ける時期は子供によってそれぞれ違います。

3）練習方針・選手起用等はコーチの専権事項です。お任せ下さい。

サッカーを大好きにさせる事ができるか！子供の自発的なやる気と素晴らしい創造性をいかに引き出してやれるか！が育成上達のﾎﾟｲﾝﾄです。

練習や試合をご覧いただき　いろいろご心配や歯がゆさはあるでしょうが、指導者は目先の勝利のみだけにとらわれず本来のあるべき姿をめざし一生懸命悩み勉強しています。コーチはコーチに任せる（専権事項）プレーは子供達に任せる！
コーチとご父兄がギクシャクしていては子供達にも影響します。

4）開智SSSは　スポーツ少年団です

クラブチームではありません、保護者のボランティアで組織を作り、ボランティアの指導者を募り、分担し力を合わせ運営しています。
是非活動に参加ください。「子供達と共に」共に学び、寄り添い、楽しみましょう！

◆可能な範囲で、練習や団の行事に参加下さい。

ｺｰﾁより「いっしょにどうですか？」と声がかかったら、可能な範囲でいっしょにお手伝いしていただけませんか？親子でﾎﾞｰﾙをけったり思い出を沢山作ってください。

◆家庭事情で少年団の活動に参加できないご家庭の子供達へのサポートも重要なボランティアと考えます

一人の力ではできなくても、できる人達で助け合えばよその子のｻﾎﾟｰﾄも可能になります。

◆ものを大切に、なるべくお金をかけないで工夫しませんか

◆保護者・指導者の　負荷の少ない効率的な活動も　工夫しましょう。

参考）JFAﾊﾝﾄﾞﾌﾞｯｸ「めざせﾍﾞｽﾄ ｻﾎﾟｰﾀｰ」の概要

◆サッカーは子供を大人にし、大人を紳士にする

- **自立の第一歩**　：子供なりに必要なことは**自分で必要と思って自分でやることこそ大切**
- **クラブへの協力**　：少年団やクラブの**活動には皆さんの協力が不可欠**です

◆スポーツ・サッカー大好きっ子を育てよう

- **子ども自身の夢**　：**過度の期待はプレッシャー**になります。**余裕を持って**楽しく長く続けられるよう
- **ゆっくり見守りましょう**　：**主役は子供**。サッカーをしたいという純粋な気持ちが大切、一喜一憂しないで**見守りましょう**
- **サッカーと学校や生活のバランス**　：サッカーだけでなく学校も他の遊びやさまざまな経験も大切。
- **トライ＆エラー**　：勝ち負けだけにとらわれず、負けや**失敗を恐れずトライ**してゆく積み重ね重要

◆みんな大切なサッカーの仲間です

- **クラブの考えを聞いてみて**　：クラブや指導者の考えを確認し納得して選ぶのがよいでしょう
- **みんな大切な仲間**　：仲間の大切さに気付き、**仲間と助け合う事**、サッカーの大切な特徴、**「敵」×**
- **サッカーを知っているお父さんへ**　：**コーチはコーチに任せましょう**。でも良い経験は子供さんに伝えて！
- **レフェリーの判定を尊重しましょう**　：**レフリーを尊重**し、**ご苦労に感謝**しましょう。グリーンカード
- **○○の子供**　：その子はその子自身です。レッテルを張って見ないでください。

◆いつでもどこでも常に子どもをサポート

- **根本的な部分へのアプローチ**　：子供たちの自立を促したい,サッカーの場だけでなく学校・家庭の協力必要
  論理的に考える力を引き出す

栄養・食習慣　**子供の成長**　**子供が主役**

JFAｻｯｶｰ指導教本より

指導者の自己ﾁｪｯｸ１１項目

1 ｻｯｶｰの楽しさを教えていますか?
2 結果よりも成果を大切にしていますか?
3 良いﾌﾟﾚｰ（チャレンジする姿勢）をほめていますか?
4 スモールサイドｹﾞｰﾑを多く行っていますか?
5 対外試合だけでなくﾄﾚｰﾆﾝｸﾞも大切にしていますか?
6 8対８の試合ばかりでなく、ﾐﾆｹﾞｰﾑも行っていますか？
7 選手全員に試合に出るチャンスを与えていますか?
8 子供に合った練習頻度･時間で行っていますか?
9 フェアﾌﾟﾚｰを徹底させていますか?
10 場の安全、子供の安全を考慮した活動を行っていますか?
11 常に子供の見本となるような行動をとっていますか?

私達指導者は、時々このチェック項目を思い出し自己点検してまいります。
単に良きｻｯｶｰｺｰﾁであるばかりでなく、よき指導者を目指したいものです。
ご指導、ご支援をよろしくお願い致します。

指導者自己チェック11項目の補足

サッカーの楽しさを教える事　サッカーを大好きにさせる事！を最優先にし以下の点も参考に（順不同）

１．複数の指導者で見てあげよう！

違った見方をしてあげられる。遅れている子のサポートをしてあげよう。若い指導者の育成も

２．時々、複数学年の合同練習も計画しよう！

上下の学年との練習、6年生が低学年を教える等も時々配慮

３．試合時のサイドコーチングは我慢！

ああやれ！こうやろう！は我慢し、問いかけ⇒気づかせ⇒考えさせ⇒チャレンジ

４．どの子にも公平に指導育成！

U-12全少・新人戦以外の試合には全員が出場、個人指導も配慮、レベル分け練習もやろう

５．各学年にあった適正試合コートサイズを採用しよう！

概ね、1，2年：36×24～40×27、3年：42×30、4年：50×35　5年：60×40　前後

６．基本のボールタッチは継続して練習させよう！

顔をあげ、落ち着いて周りを見て判断し、ボールがさばけるよう

７．モチベーションを上げる工夫！

鬼ごっこ、ゲーム性や競争を入れた練習、ハンディー戦、普段得点できない子に得点目指す・等

８．本日の練習の成果がミニゲームに出るように！（MTMでもOK）

単なるパス・シュート練習ではなく、良いミニゲームをめざした組合せ練習・意識付け

めざせ、ベストサポーター！

子どもたちのために良かれと思うその気持ちが
最適な方向になるために。

「子どもと共に」・・・
笑顔で　共に学び、寄り添い、楽しみましょう！